

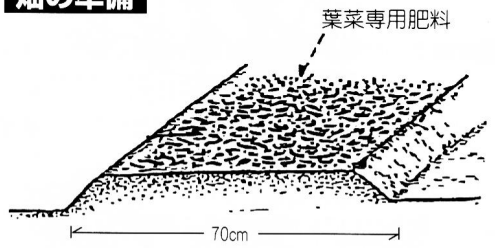


# コマツナ

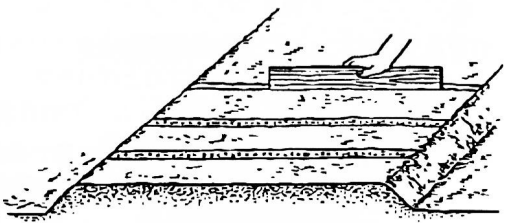
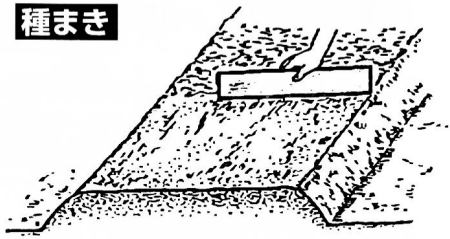
作型	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
春まき				●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●
秋まき												

●種まき    ■収穫

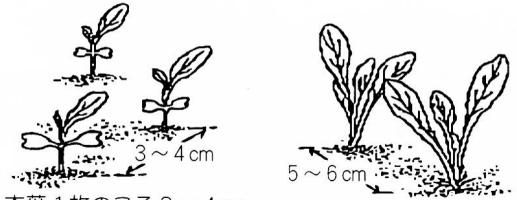
## 畑の準備



## 種まき

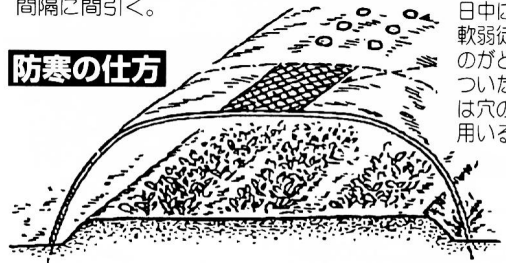


## 間引き



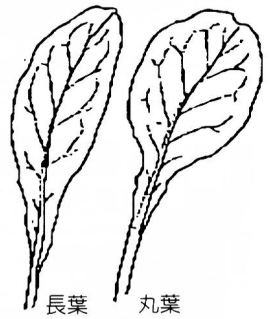
本葉1枚のころ3~4cm間隔に間引く。

## 防寒の仕方



11月以降に種まきするには、ビニールまたはヨシズによる防寒が必要である。

## 葉の形



このほうが好まれる。

## 育て方のポイント

- ①畑の準備**
  - 生育期間が短い作物なので、よく肥えた畑を選ぶ(土づくりが大切)。
  - 排水の悪い所では高畝とする。
  - は種の10~14日前にりん酸入り石灰肥料を全面に散布し、深く耕しておく。
  - は種の5~7日前に葉菜専用肥料を全面に散布して、畝立てを行う。
  - 畝幅110~120cmとし、畝の中央部をやや高くして排水をよくする。
- ②植えつけ**
  - 種子量、条播(条間15cm)、株間2~3cm、500ml/10a
  - 覆土、丁寧な細土を行い、厚さ0.5~1cmで均一に行う。
  - 高温期のは種、気温が下がる夕方に行い、発芽の安定を図る。
- ③管理**
  - かん水**：は種後は十分にかん水する。発芽後生育中期までは土壌表面が乾燥したらかん水する。
  - 間引き**：本葉2~3枚の頃に株間5~6cmに間引く。
  - 防除**：べと病は多湿条件下で発生しやすいので密植を避け、かん水量に注意する(防除の項参照)。
  - 追肥**：低温期は生育期間が長いので、追肥が必要である。葉菜専用肥料もしくは追肥専用肥料を30g/1m<sup>2</sup>
  - 収穫**：草丈が25cm位になったら収穫する。葉を地際から切り取り、古葉、傷葉等を取り除き、本葉4~5枚程度に調整する(1束250g、6,400束/10a)。

施肥量 1m <sup>2</sup> 当たり	基肥	りん酸入り石灰肥料…100g、土を元気にする肥料…200g 葉菜専用肥料…120g
	追肥	葉菜専用肥料もしくは追肥専用肥料…(30g) (注)葉菜専用肥料の(30g)は低温期に行う。
病害虫防除		アブラムシ類……アクタラ粒5 6g/1m <sup>2</sup> コナガ……アフーム乳 2,000倍
		(使用時期・回数についてはラベルに記載されている内容を確認してください)